

関係機関・団体・課・室長 様

兵庫県農政環境部長

平成 28 年度 兵庫県農業気象技術情報第 8 号 (1 ~ 2 月情報) について (送付)

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

記

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

| 作物 | 地域 | 栽培上の留意点 | 対 応 策 |
|------|------------------|---|---|
| 水稲 | 全 県 共 通 | <p>1 生育 土づくり肥料 (資材) 及び有機物などを施用して土づくりに努める。堆肥は秋冬に投入した方が、次年度の地力窒素として効果的である。 秋すきをしていないほ場では、早急に耕うんし、稲わら・大豆殻等の腐熟を促進する。</p> <p>2 病害虫 カメムシ類、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイの越冬密度を少なくするため、あぜ草の管理に努める。</p> | |
| 麦 | 全 県 共 通 | <p>1 生育 (1) 気温がやや高いため、生育は進んでおり、幼穂形成が早まる可能性がある。</p> <p>(2) 播種が遅れたところでは、茎数不足が懸念される。</p> | <p>1 生育 (1) 麦踏みは、ほ場が乾燥している時に、麦が 5 葉期から節間伸長期までに数回行い、分けつの促進と凍害防止を図る。 ほ場が湿った状態で麦踏みすると、トラクターの車輪跡が残り、かえって湿害を助長する。 排水溝は、水が溜まらないように手直しを確実にし、常に排水口に水が流れるようにする。</p> <p>(2) 茎数不足を補うために、通常の施肥に加え、つなぎ肥を 1 月中に N 1 ~ 2 kg/10a を施用する。</p> |
| キャベツ | 全 県 共 通 | <p>1 生育 温度が高いと結球肥大が促進される見込み。</p> <p>2 病害虫・鳥獣 (1) 近年、菌核病が増加傾向である。平成 28 年 12 月 13 日付け病害虫発生予察予報第 7 号で、本病の発生は「平年並」と予想されている。</p> <p>(2) 1 ~ 3 月は、ヒヨドリ等の食害が多くなる。</p> | <p>1 生育 裂球に注意し、適期収穫を心掛ける。排水溝は、水が溜まらないように手直しを確実にし、常に排水口に水が流れるようにする。</p> <p>2 病害虫・鳥獣 (1) 軟弱徒長気味に生育しているので、病気に罹りやすい。結球期に発病するので、結球開始前から予防的に薬剤散布を行う。</p> <p>(2) 鳥害が予想される場合は、防鳥ネット等で食害を避ける。</p> |

| 作物 | 地域 | 栽培上の留意点 | 対応策 |
|----|------|---|---|
| 果樹 | 全県共通 | <p>1 生育 凍寒害や雪害の発生防止に努める。</p> <p>2 病害虫 越冬病害虫の密度を下げる。</p> | <p>1 生育 敷きわらや伸びた草等は、果樹園内の気温を下げるので、敷きわらは霜害危険期を過ぎてから行う。 クリ、ブドウ、モモ等において、耐寒性の劣る幼木のせん定は、厳寒期を過ぎてから行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリ：春先の低温被害の対策として、幼木への株ゆるめ処理等を行う（特に水田転換園は留意する）。 ・イチジク：稲わら、アルミ蒸着フィルムの被覆を行う。 ・青ナシ：粗せん定を実施し、棚上の積雪を少なくする。また、棚の点検を行い、不良箇所を補修するとともに、必要に応じて中柱を追加する。 ・カンキツ類：耐寒性の劣る幼木や品種、未収穫樹に、不織布やこもで樹全体の被覆を行う。 <p>2 病害虫 病害虫の被害果、枝及び落葉は、焼却あるいは園内からの持ち出しを行う。またマシン油乳剤や石灰硫黄合剤による薬剤防除とともに、粗皮削り等、耕種的な対策を組み合わせ、越冬病害虫の密度を下げる。</p> |

◎水稲・麦の栽培については、「稲・麦・大豆作等指導指針」を、防除については「病害虫発生予察情報」及び「兵庫県農薬情報システム」を参考にすること。
※本情報は、12月22日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう1か月予報（12月24日～1月23日）

[平成28年12月22日 大阪管区気象台発表]

【概要】

近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、近畿太平洋側で多い確率50%です。日照時間は、近畿日本海側で平年並または多い確率ともに40%、近畿太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。近畿日本海側の降雪量は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、高い確率60%です。

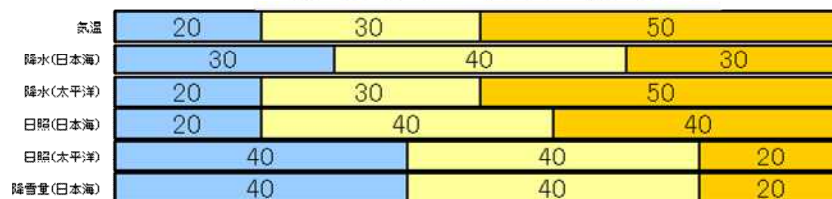
【確率】

○気温、降水量及び日照時間

【近畿地方】

□低い(少ない) □平年並 □高い(多い)

(単位:%)

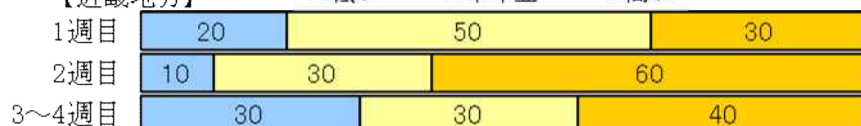


○各週の気温経過

【近畿地方】

□低い □平年並 □高い

(単位:%)



(2) 近畿地方の向こう3か月予報（1月～3月）

[平成28年12月21日 大阪管区気象台発表]

| | | | |
|-------------|---|---------------|---------|
| 【概要】 | | | |
| 1月 | 近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 | | |
| 2月 | 近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 | | |
| 3月 | 近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わらるでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 | | |
| 【確率】 | | | |
| ○気温 | 【近畿地方】 | □低い □平年並 □高い | (単位: %) |
| | 3か月 | 30 30 40 | |
| | 1月 | 30 30 40 | |
| | 2月 | 40 30 30 | |
| | 3月 | 20 40 40 | |
| ○降水量 | 【近畿日本海側】 | □少ない □平年並 □多い | (単位: %) |
| | 3か月 | 30 40 30 | |
| | 1月 | 30 40 30 | |
| | 2月 | 30 30 40 | |
| | 3月 | 40 30 30 | |
| | 【近畿太平洋側】 | □少ない □平年並 □多い | (単位: %) |
| | 3か月 | 40 30 30 | |
| | 1月 | 30 40 30 | |
| | 2月 | 40 30 30 | |
| | 3月 | 40 30 30 | |
| ○降雪量 | 【近畿日本海側】 | □少ない □平年並 □多い | (単位: %) |
| | 3か月 | 30 40 30 | |

※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い(少ない・平年並・多い)の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間(1981～2010年)における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・「病害虫発生予察情報」 <http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>
- ・「兵庫県農薬情報システム」 <http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>
- ・「Web 水稻生育予測システム」 <http://www.aginfo.jp/RGP/>
- ・「携帯用水稻生育予測」 <http://www.finds.jp/ricediag/kt/index.php>

問い合わせ先

本情報に関すること

- ・兵庫県農政環境部農林水産局農産園芸課 TEL (078)341-7711(代表)
農産班:主作・機械担当 内線 4074
農産班:野菜担当 内線 4054
花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- ・県立農林水産技術総合センター
企画調整・経営支援部 TEL (0790)47-2435
農業技術センター 農産園芸部 TEL (0790)47-2410
農業技術センター 病害虫部 TEL (0790)47-1222
北部農業技術センター 農業・加工流通部 TEL (079)674-1230
淡路農業技術センター 農業部 TEL (0799)42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL : http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html
(兵庫県トップページ>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)